

第4期『鶴見・あいねっと』策定のための
関係団体アンケート まとめ

鶴見区社会福祉協議会

令和元年 12 月

○ご協力いただいた皆さまへ

この度はアンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。実際に比べればごく一部の内容だとは思いますが、関係団体の皆さまの活動、地域福祉・保健へのご見解、地域共生社会の実現に向けた貴重なご意見をお伺いすることができました。いただいたご意見は、第4期鶴見区地域福祉保健計画策定の材料とさせていただきます。

○調査票前文

鶴見区では、「たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク」を基本理念に、誰もが安心して生活できるまちづくりのための活動「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」を区民の皆様とともに進めています。

今回のアンケートは、団体の皆様から地域や福祉、保健などの身近なことについてお伺いし、令和3年度から始まる第4期鶴見区地域福祉保健計画の参考とさせていただきます。

○配布および回収

鶴見区社会福祉協議会会員（第1種、第3種、第5種、第6種）を対象に令和元年10月10日発送～11月15日着受付の期間で、郵送による留め置き式調査を実施。

配布148件、回収75件（回収率50.7%）。種別ごとの回収率は次のとおり。

種別	回答数	回収率
1種（施設）	22	44.0%
3種（地区社協）	6	33.3%
5種（当事者団体）	19	47.5%
6種（ボランティア団体）	23	57.5%
種別未記入	5	
総計	75	50.7%

※会員種別について

- ・第1種…公私社会福祉事業施設
- ・第3種…地区社会福祉協議会
- ・第5種…障害者団体等当事者団体
- ・第6種…ボランティア団体、市民活動団体等

～目次～

<「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」について>

- ①-1 「鶴見・あいねっと」を知っているか
- ①-2 「鶴見・あいねっと」の3つの柱のうち、取り組みが特に充実してきていると思うものはどれか
- ①-3 「鶴見・あいねっと」の3つの柱のうち、もっと積極的に取り組む必要があると思うものはどれか

<団体の活動の現状について>

- ②-1 活動のPRや会員の募集をどのように行っているか
- ②-2 必要な情報はどこから得ているか
- ②-3 他の団体や関係機関等との関わりがあるか
- ②-4 ②-3で選択した団体との関わり方（記述）
- ②-5 活動をする中で困っていることはあるか
- ②-6 活動を続けていくためにどのような支援があるとよいか

<地域での必要な支援について>

- ③-1 活動を通じて地域がもっと住みやすくなるために、今後どのようなことが充実するとよいか
- ③-2 区役所や区社協にどのような支援を期待するか

<成年後見制度について>

- ④-1 成年後見制度はどういった方法で周知するとより効果的か

<生活困窮について>

- ⑤-1 生活困窮者自立支援制度や関連する事業内容について知っているか
- ⑤-2 生活困窮者に対する取り組みを行っているか
- ⑤-3 生活困窮者に対してどのような取り組みを行っているか
- ⑤-4 生活困窮者に対する取り組みを行っていない理由はなぜか

<障がい者との共生社会について>

- ⑥-1 障がいの有無に関わらず住民が主体的に参加できるまちをつくるために、最も必要なことは何か

<社会福祉法人の地域貢献について>

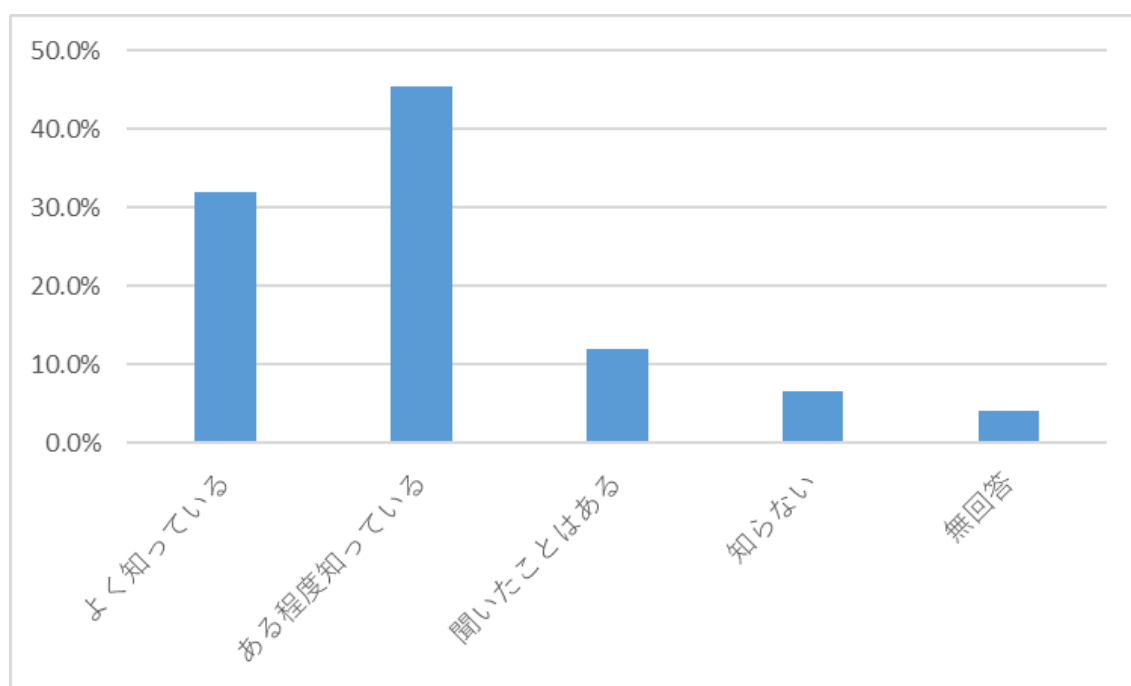
- ⑦-1 社会福祉法人とどのようなことで連携したいか

<自由意見>

【資料】

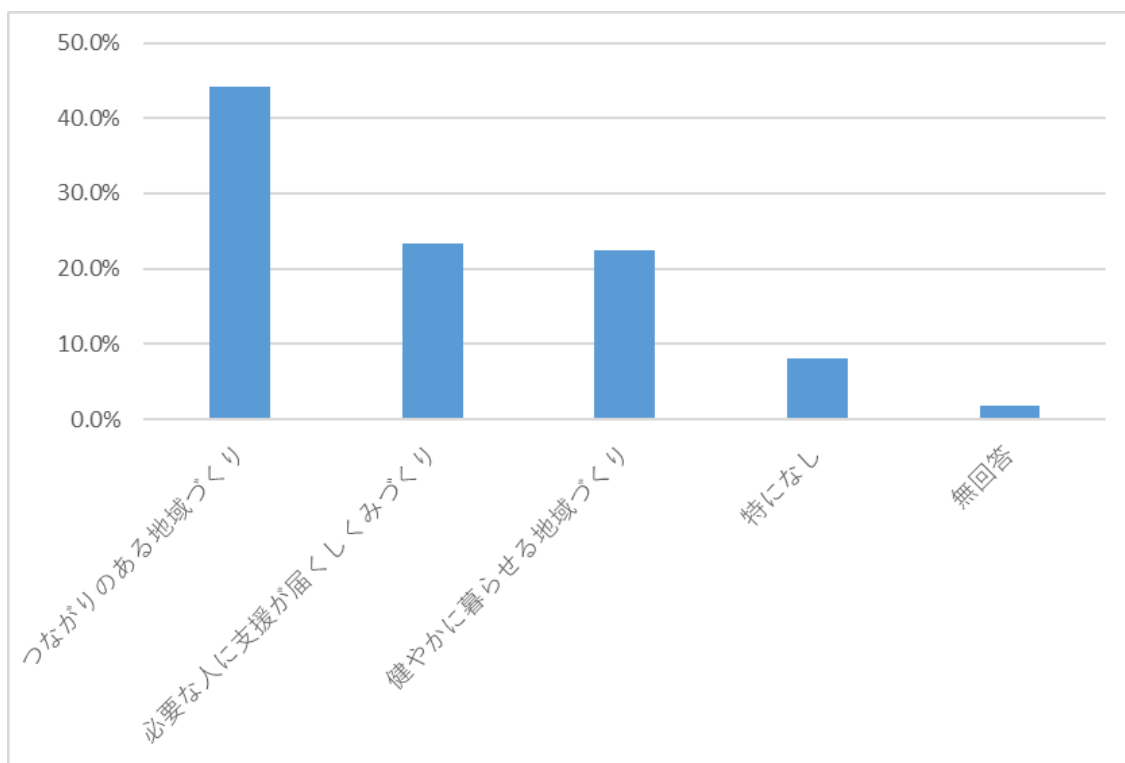
- ・調査票様式

①-1 「鶴見・あいねっと」を知っているか (n=75)



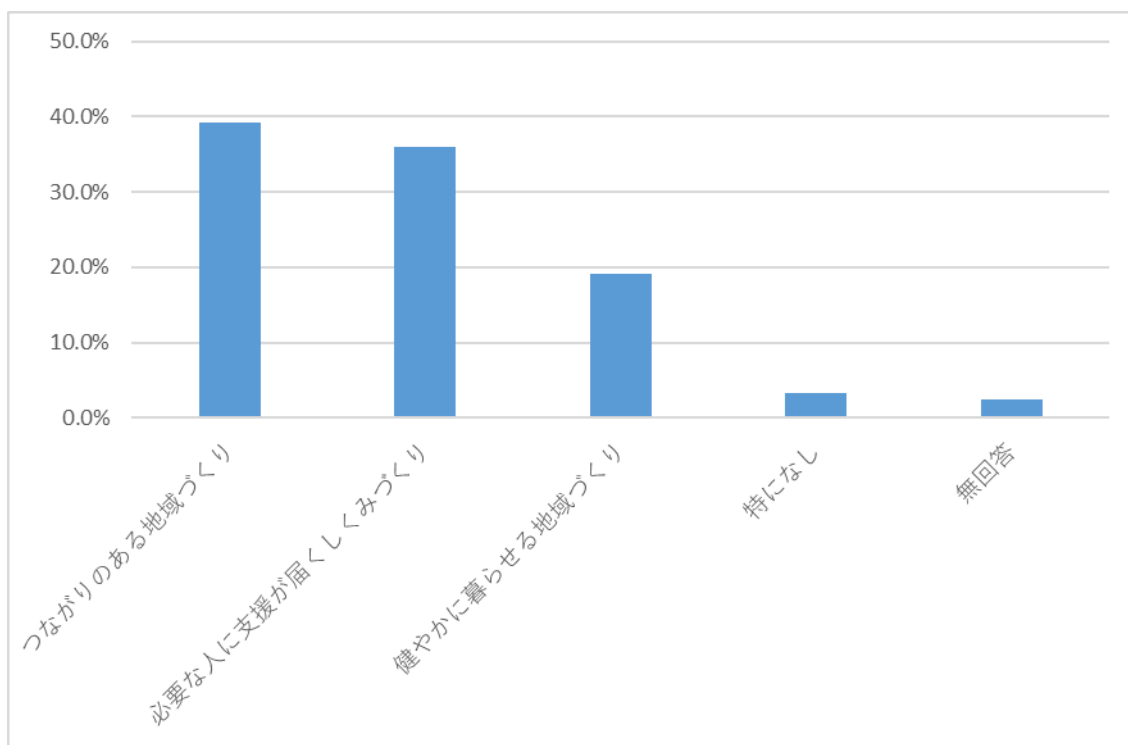
「ある程度知っている」が45.3%で最も多く、次いで「よく知っている」が32.0%で、90%近くを占めた。

①-2 「鶴見・あいねっと」の3つの柱のうち、取り組みが特に充実してきていると思うものはどれか (n=111) ※複数選択可



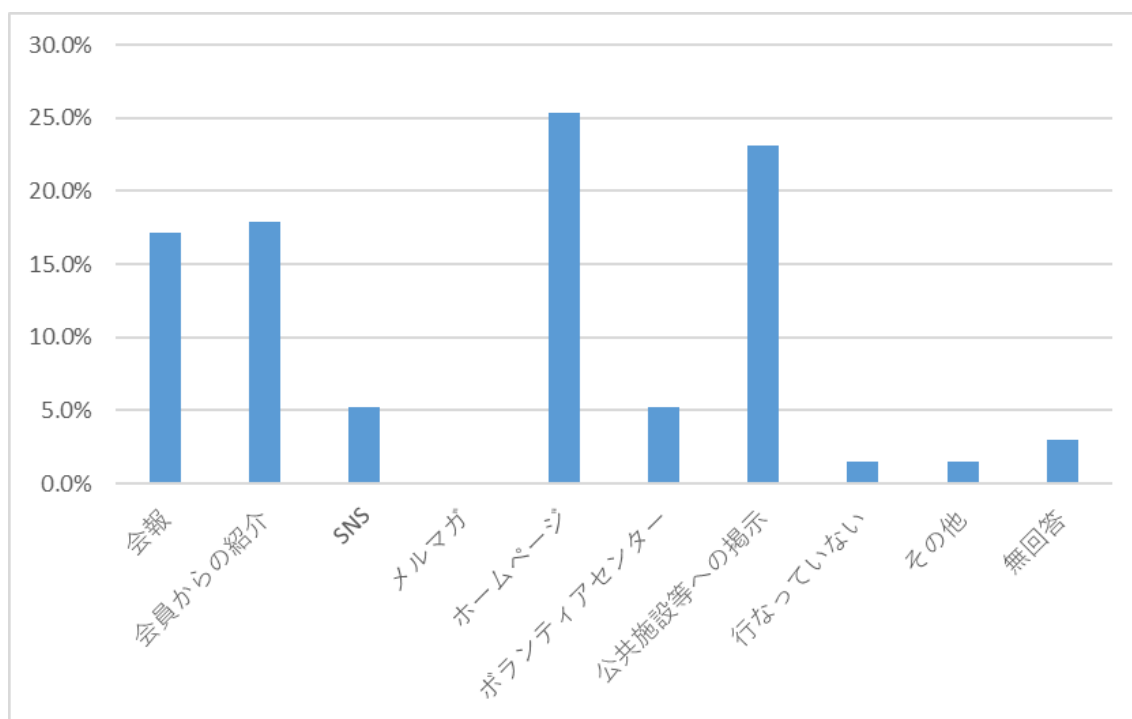
「つながりのある地域づくり」が44.1% (49 団体) で最も多く、次いで「必要な人に支援が届くしくみづくり」が23.4% (26 団体)、「健やかに暮らせる地域づくり」が22.5% (25 団体) となった。

①-3 「鶴見・あいねっと」の3つの柱のうち、もっと積極的に取り組む必要があると思うものはどれか (n=125) ※複数選択可



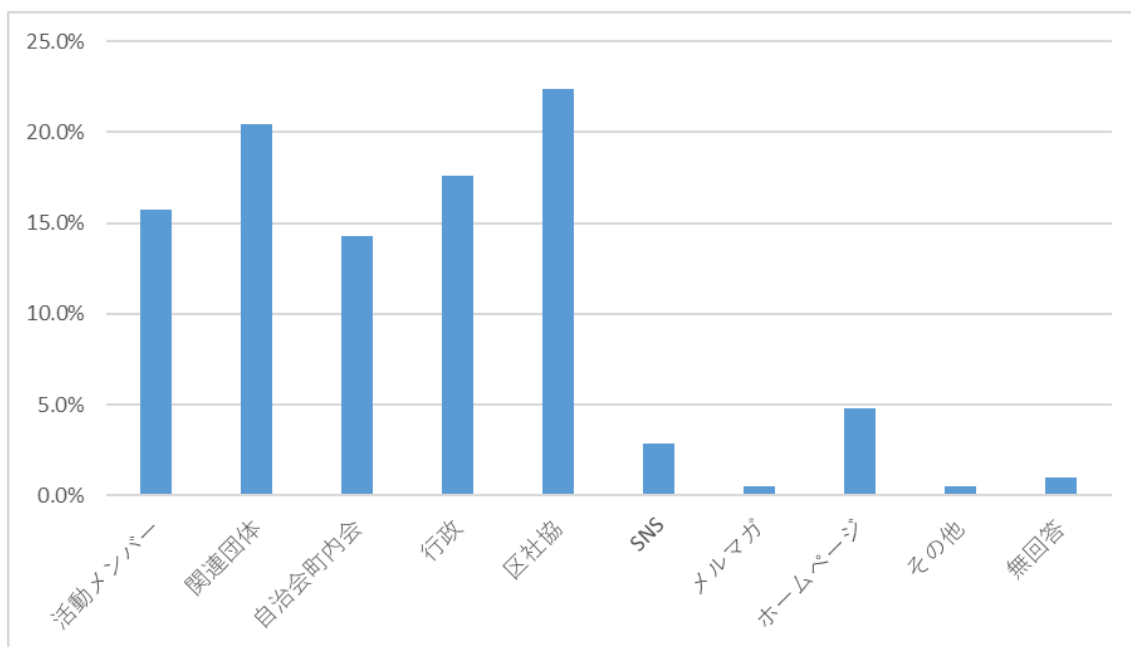
「つながりのある地域づくり」が39.2%（49団体）で最も多く、次いで「必要な人に支援が届くしくみづくり」が36.0%（45団体）、「健やかに暮らせる地域づくり」が19.2%（24団体）となった。

②-1 活動のPRや会員の募集をどのように行っているか (n=134) ※複数選択可



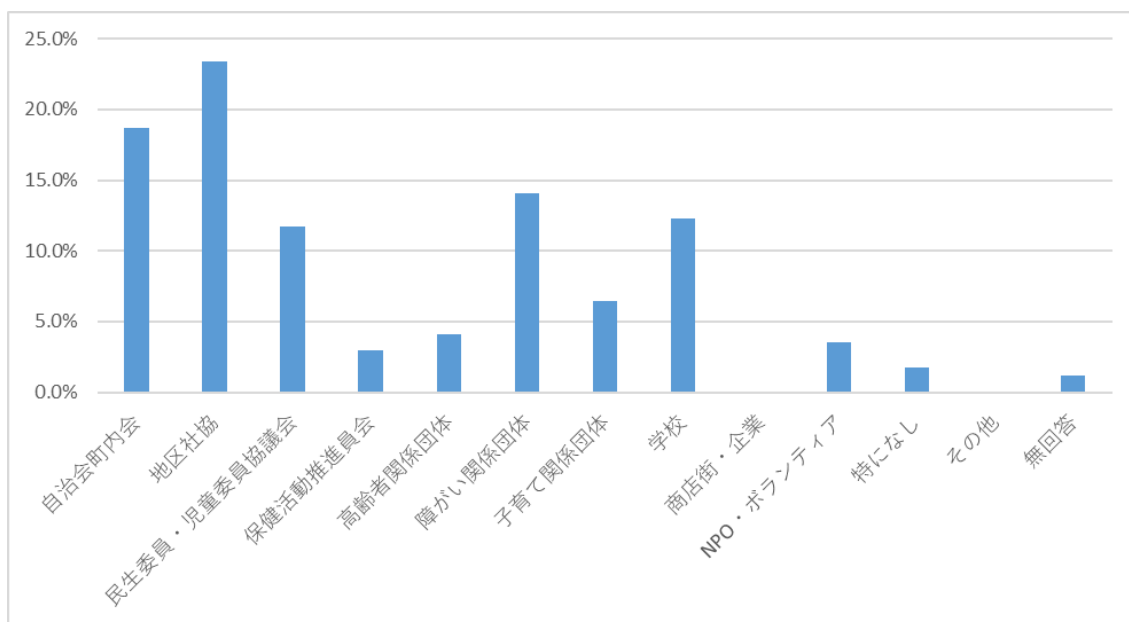
「ホームページ」が 25.4% (34 団体) で最も多く、次いで「公共施設等への掲示」が 23.1% (31 団体) となった。SNS は 5.2% (7 団体) が活用していると回答した。

②-2 必要な情報はどこから得ているか (n=210) ※複数選択可



「区社協」が22.4%（47団体）で最も多く、次いで「関連団体」が20.5%（43団体）、「行政」が17.6%（37団体）となった。

②-3 他の団体や関係機関等との関わりがあるか (n=171) ※3つまで選択可



「地区社協」が 23.4% (40 団体) で最も多く、次いで「自治会町内会」が 18.7% (32 団体) となった。

②-4 ②-3で選択した団体との関わり方 (記述) (次頁より)

「団体」に具体の施設名が記載されていた場合、②-3の選択肢に統一。略称記載は以下のとおりとした。

地区社会福祉協議会…地区社協	区社会福祉協議会…区社協
民生委員・児童委員協議会…民児協	保健活動推進委員会…保活

また、「関わり」記載内容は原文ママとした。

※②-3と②-4の整合性について

記述内容から、「地区社協」ではなく「区社協」を意図して記入したものと明らかに読み取れるものは、②-4では「区社協」と記載。ただし、②-3では選択肢が「地区社協」のため、②-3集計上の値は「地区社協」のままとした。

団体	関わり
自治会町内会	共催・協力等で事業開催、子育て支援に協力
自治会町内会	納涼祭、餅つき大会等で地域交流を図る
自治会町内会	当協会の理事
自治会町内会	自治会主催の行事等の参加を通して
自治会町内会	自治会館を借りたりとお世話になっている
自治会町内会	行事等で地域交流を行っている
自治会町内会	祭り・行事・防災で人の交流、物品を借りたり参加したりしている。
自治会町内会	防災訓練などに参加させていただいている
自治会町内会	協力して事業などを実施 定期的に情報交換を行っている
自治会町内会	協力して事業を実施、定期的に情報交換
自治会町内会	定期連絡会等への参加
自治会町内会	協力して事業を実施
自治会町内会	運営・防犯・防災、共催事業
自治会町内会	地区連合会と協力して事業の実施、情報交換を行っている
自治会町内会	協力して事業などを実施、定期的に情報交換を行っている
自治会町内会	自治連合の行事に来賓として出席
自治会町内会	行事の多いこの地域で色々お誘いを頂き参加させてもらっている
自治会町内会	月 1 回会合
自治会町内会	豊岡地区連合会、豊岡 3 町内会、活動の参加及び協力
自治会町内会	町内会（隣組にて、清掃当番の一員として一緒に町内美化に取り組む）
自治会町内会	日頃から地域の相談等顔の見える関係有 HP 健康まつりでは実行委員会から参加してもらっている
自治会町内会	あいねっと等
自治会町内会	毎月一回以上必要時に
自治会町内会	大運動会観戦、御旅所提供
自治会町内会	お祭り等行事に参加
自治会町内会	各種会合、行事等を通じ、情報交換や依頼を行っている
自治会町内会	世代間交流や行事に参加者を募ってくださる
老人会	老人会の方々が園に 3 回ほど来ていただいて交流している
老人会	共催事業を予定
地区社協	「チャオ」の宣伝を広報紙に載せていただいている
地区社協	社協の皆さんと情報交換を行い、行事に参加している
地区社協	定期的に情報交換
地区社協	定期連絡会等への参加

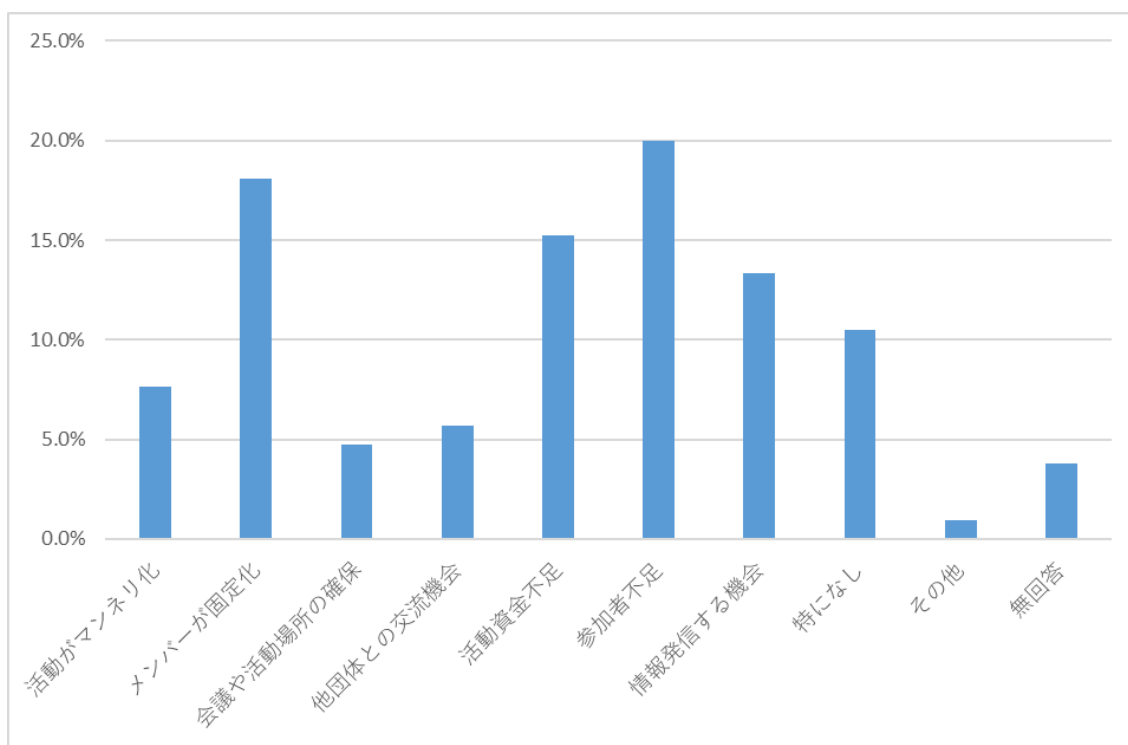
団体	関わり
地区社協	協力して事業を実施
地区社協	共催事業
地区社協	近隣の地区社協との情報交換
地区社協	住みやすい町作りの課題を共有し、課題解決の担当を担った。
地区社協	障がい理解講座等の共催
地区社協	配食・見守り
区社協	定期的に情報交換を行っている
区社協	助成金交付、お菓子の寄付
区社協	社協の会員であり、定期的に情報交換を行っている
区社協	日本語教室としての会場・補助金
区社協	協力して事業などを実施 定期的に情報交換を行っている
区社協	ボランティアセンターと情報交換
区社協	定例会の情報にて、求めて協力やお話を聞く
区社協	移動情報センター、ボランティア関連、余暇活動支援など
区社協	場所の提供を受け、つどいのひろばの「おでかけひろば」を開設
区社協	助成金関係
区社協	活動を応援していただいています
区社協	パソコン教室の会場の活用（年 8 回程度）
区社協	会員となり、情報をいただいたり、利用者の送迎等でお世話になっている
区社協	協議会の団体に加入、行事等の参加
区社協	VO 分科会に参加、他団体との情報交換、又他団体の活動を知るようにしている
区社協	会員団体として
区社協	会員になっており、情報を得たり、寄付のお菓子を頂いたりしている
区社協	定期的情報交換
区社協	傾聴ボランティアの紹介、受け入れ、ボランティアの相談をさせていただいている。
区社協	定期的情報交換
区社協	研修等
区社協	他団体との交流、ボランティア募集等、情報交換を行っている
区社協	指導と時間を取って行事等に参加と手伝いをお願いしている
区社協	年 5 回程度か？
区社協	総合事業及びボランティアの育成、「暮らしの相談支援者ネットワーク」事務局
民児協	定例会に参加してもらい情報交換、情報共有

団体	関わり
民児協	協力して事業などを実施 定期的に情報交換を行っている
民児協	園の苦情解決委員としてお願いしている
民児協	毎週土曜日の調理実習の際に手伝ってもらっている
民児協	世代間交流や行事に参加者を募ってくださる
民児協	月1回会合
民児協	運営推進会議に参加していただいている
民児協	定期連絡会等への参加
民児協	定期的な情報交換
民児協	月一回の定例会等
民児協	地区民・児協と一緒に地域での福祉活動の推進
民児協	協力して事業を実施、定期的に情報交換
民児協	協力して事業などを実施、定期的に情報交換を行っている
保活	定例会に参加してもらい情報交換、情報共有
保活	協力して事業などを実施 定期的に情報交換を行っている
高齢者関係団体	協力して事業などを実施 定期的に情報交換を行っている
高齢者関係団体	日にちは決めないで、協力依頼がある、定期的に情報交換したい
高齢者関係団体	老人福祉施設間での情報支援等
障がい関係団体	赤い羽根募金や障がい関係団体など協力している
障がい関係団体	団体に所属
障がい関係団体	理事会、評議員会
障がい関係団体	定期的に情報交換を行っている
障がい関係団体	理事会等での情報交換
障がい関係団体	障がい当事者の生活支援についての連携・地域づくりなど
障がい関係団体	定期的に話し合いの場を設け、販売会等は協力して参加している
障がい関係団体	鶴っこ部会の会員となり、情報交換や販売して参加している
障がい関係団体	福祉体験学習の受け入れ
障がい関係団体	昼食作り週二回、夏祭り等の協力
障がい関係団体	共催事業や情報共有
障がい関係団体	関係機関と連携して、事業実施や情報交換を行っている
障がい関係団体	東部地域療育センターとの協力、他訓練会との情報交換
障がい関係団体	協力して事業などを実施、定期的に情報交換を行っている
障がい関係団体	浜家連。月2回会議を開き必要な情報を入手したり、活動に協力している。
障がい関係団体	チラシを置かせてもらう
障がい関係団体	つるっ子を通して販売会、意見交換を行っている

団体	関わり
障がい関係団体	区聴協。定期的情報交換
障がい関係団体	市精連。福祉体験学習の受け入れ
障がい関係団体	藤沢のみらい創造財団から R バレー大会以外のパラスポーツ交流・体育館開放
障がい関係団体	鶴見区ろう者協会。定期的に情報交換を行い、行事等参加協力する
障がい関係団体	浜視協。行事等の参加、当事者の参加のための支援
障がい関係団体	鶴視協。当事者へ誘導音声訳、点訳、拡大等の提供
子育て関係団体	ケアプラザでの子育て支援（出前保育）
子育て関係団体	情報交換、交流
子育て関係団体	研修・他団体との交流会に出席
子育て関係団体	ゆうづまのイベントなど
子育て関係団体	子育て個育ちフォーラムへの参加、鶴見区子育てひろば「わっくんひろば」との 情報交換、障害者子どもを守る連絡協議会への加入
子育て関係団体	定例会に参加してもらい情報交換、情報共有
子育て関係団体	民・児委員を中心とした子育て関係団体に活動資金を支援している。
子育て関係団体	鶴見区子育て支援ネットワーク会議。ネットワーク作り
学校	毎月お話を実施
学校	発達障害の子どもたちに対する支援法について情報交換を行っている
学校	行事出席や園児と児童の交流で情報交換をしている
学校	養護学校の見学、訪問、実習を積極的に受けている
学校	実習、見学の受け入れ
学校	卒業生受け入れ・在校生の相談サポート等
学校	福祉授業
学校	小・中・高と定期的に関わりがある
学校	小学校。色々な交流（子供・職員）幼保小の連携
学校	小学校。交流会など
学校	小学校。定期的に交流・情報交換を行っている
学校	中学校。福祉体験学習の受け入れ
学校	（養護学校）卒業生の受け入れ
学校	区校長会を通してチラシの配布
NPO・ボランティア	月 2 回夕食を作り弁当として届けている。
NPO・ボランティア	鶴見スポセンでの活動と 2 大会出場時の全面協力 10 余年続、10 数年ぶりに会 に紹介者 1 名
NPO・ボランティア	年長児が乳児との交流

団体	関わり
NPO・ボランティア	利用者の通所先兼母体
NPO・ボランティア	鶴見区内の障がい児に対するインクルーシブ教育の啓発に対する情報交換を行っている
NPO・ボランティア	情報誌などの交換
NPO・ボランティア	他区の障がい施設やボランティアと情報交換や事業の協力を実施している
NPO・ボランティア	食事サービス連絡会。各配食サービスの方と年2、3回
NPO・ボランティア	食事サービス連絡会。区役所6階で持ち寄りの試食会と衛生講習会
区役所	指導等をお願いしている
区役所	区役所のロビーでポスターで日頃の活動を紹介
区役所	補助金・日本語教室(ラウンジ)
区役所	パソコン祭開催(年1回)、パソコン教室(不定期)
区役所	平成8年リハビリ教室が元で会設立
区役所	情報交換、交流、鶴見人ネットによる講師紹介、依頼
区役所	色々と協力して頂いており、定期的に情報交換を行っている
地域ケアプラザ	毎週一回ケアプラザでボランティア活動をして情報交換をしている
地域ケアプラザ	新規利用者さんの紹介、連絡なしに不在の利用者さんがいた場合の連絡
地域ケアプラザ	活動の場所をさせていただき、ケアプラザまつりに手作り品の供出や大掃除のお手伝いなどわずかですが関わらせていただいています
地域ケアプラザ	「めがねばし会」「チャオ」の会場使用、利用者さんへの宣伝もしていただいている
地域ケアプラザ	高齢者への配食事業で情報交換
地域ケアプラザ	協力して事業を実施、定期的に情報交換
地域ケアプラザ	日常的な連携済である「川のまちエリア会議」事務局
地域ケアプラザ	育児講座、交流保育、園庭開放、行事のポスター貼り、声掛けをして下さる
地域ケアプラザ	夏祭り協力
地区センター	パソコン・スマホ教室開催のサポートをする
児童相談所	鶴見区内で学習支援を必要としている子の紹介を受けている
生活支援センター	色々と協力して頂いており、定期的に情報交換を行っている
会員団体・理事会構成団体	協力して事業などを実施、定期的に情報交換を行っている

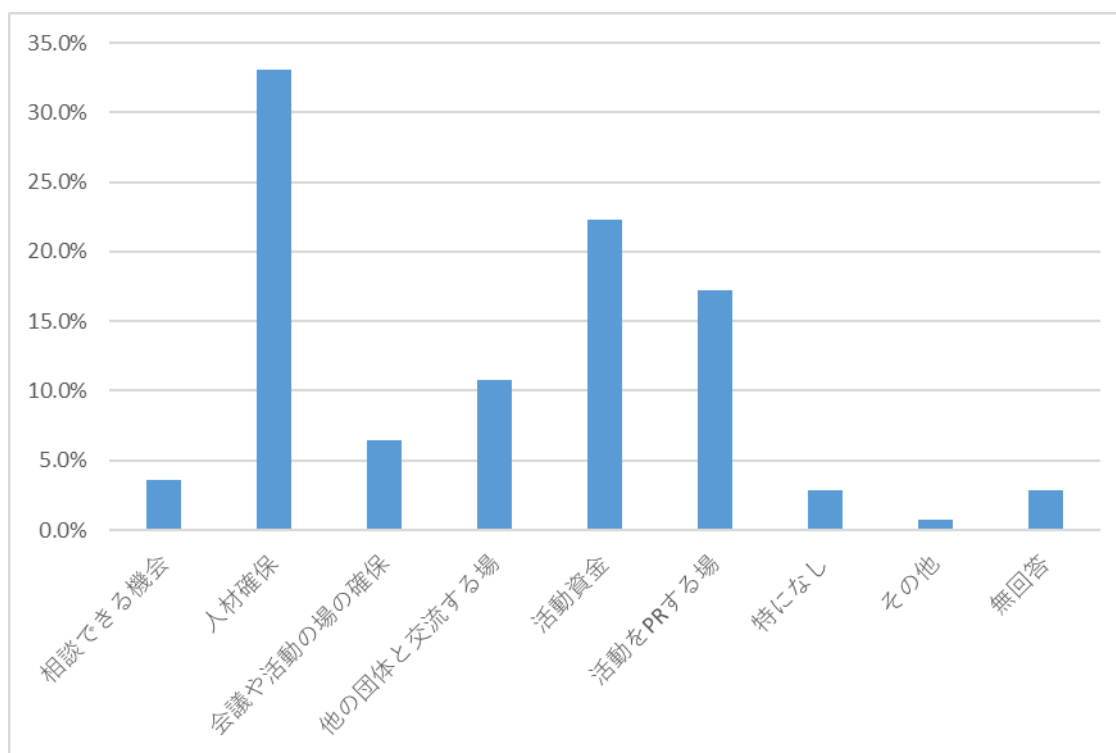
②-5 活動をする中で困っていることはあるか (n=105) ※3つまで選択可



「参加者不足」が 20.0% (21 団体) で最も多く、次いで「メンバーが固定化」が 18.1% (19 団体) となった。

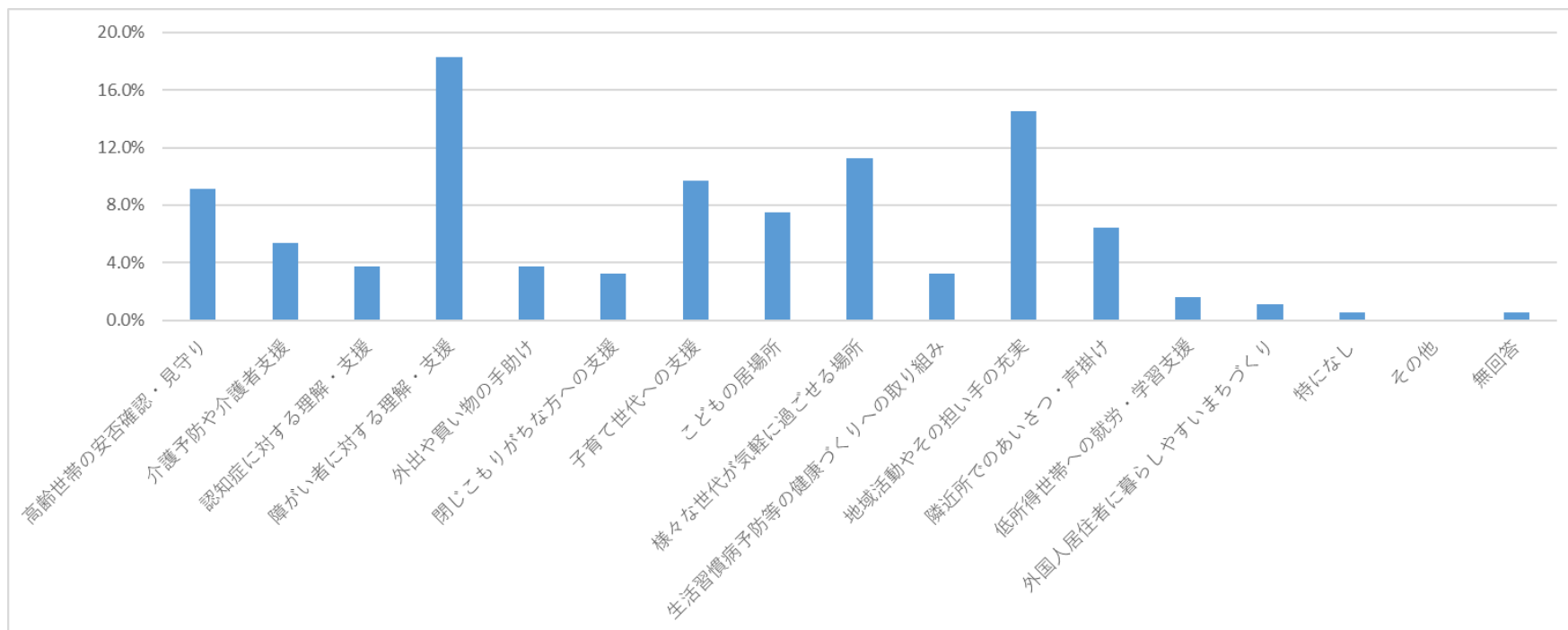
②-6 活動を続けていくためにどのような支援があるとよいか (n=139)

※ 3つまで選択可



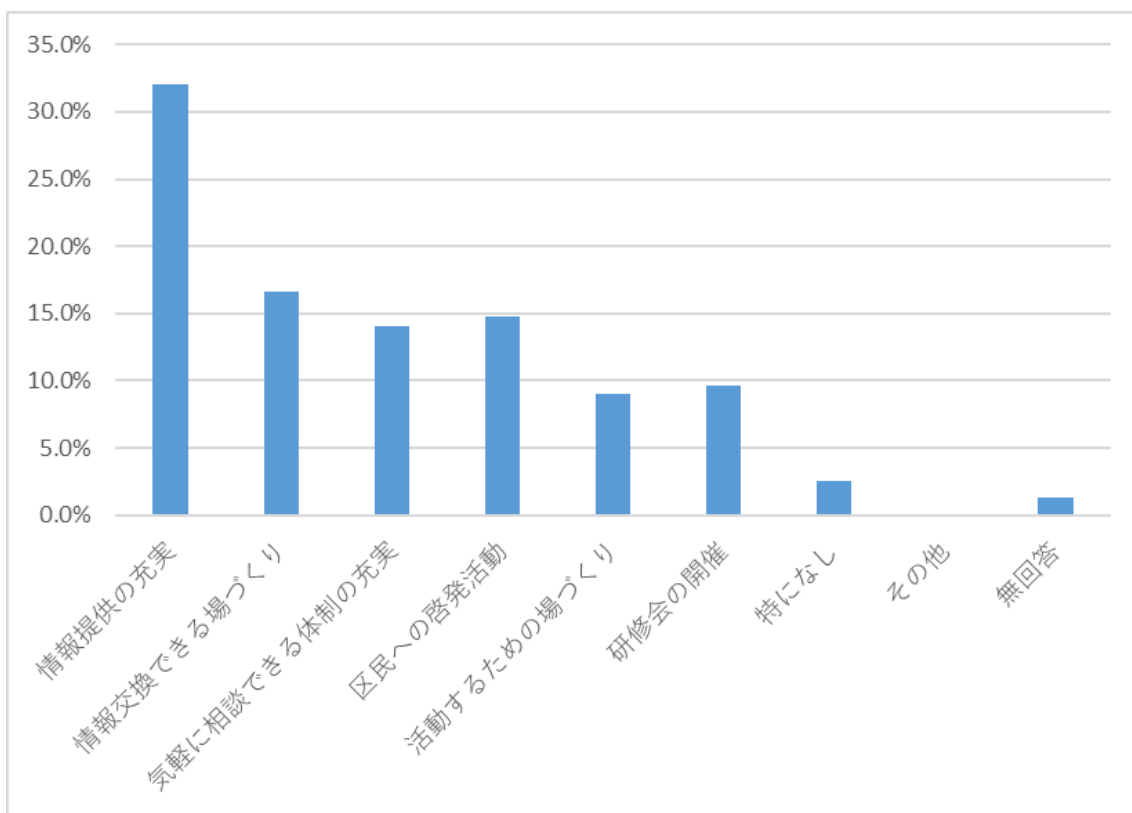
「人材確保」が 33.1% (46 団体) で最も多く、次いで「活動資金」が 22.3% (31 団体)、「活動を PR する場」が 17.3% (24 団体) となった。

③-1 活動を通じて地域がもっと住みやすくなるために、今後どのようなことが充実するとよいか (n=186) ※3つまで選択可



「障がい者に対する理解・支援」が18.3% (34 団体) で最も多く、次いで「地域活動やその担い手の充実」が14.5% (27 団体)、「様々な世代が気軽に集える場」が11.3% (21 団体) となった。

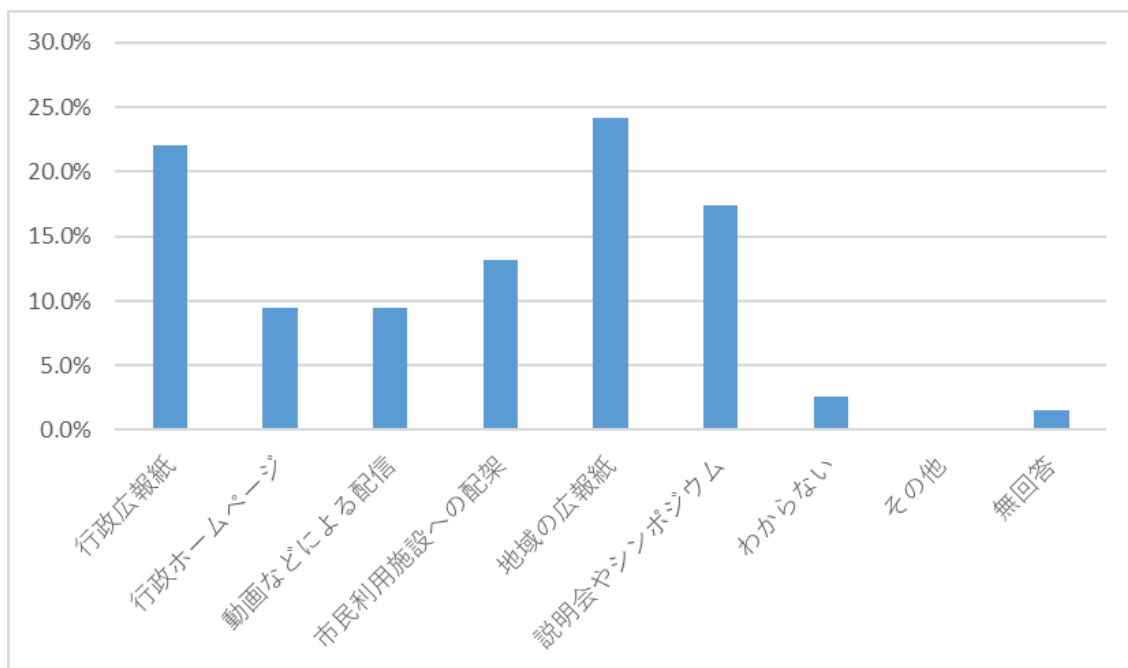
③-2 区役所や区社協にどのような支援を期待するか (n=156) ※ 3つまで選択可



「情報提供の充実」が 32.1% (50 団体) で最も多く、次いで「情報交換できる場づくり」が 16.7% (26 団体)、「区民への啓発活動」が 14.7% (23 団体) となった。

④－1 成年後見制度はどういった方法で周知するとより効果的か (n=190)

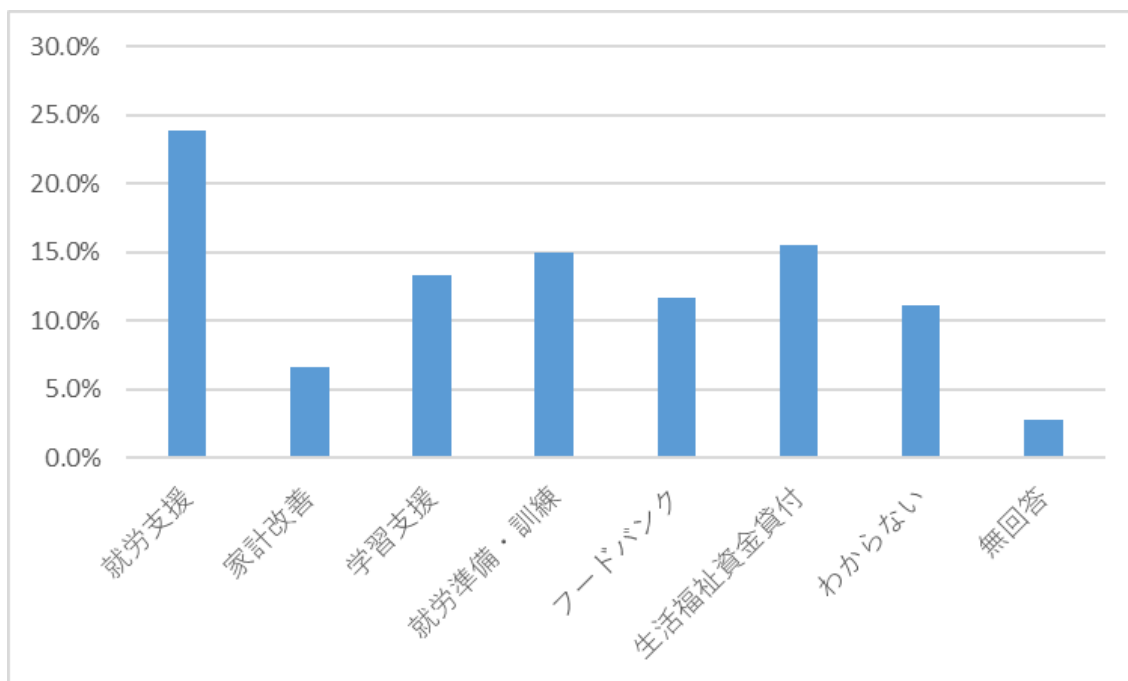
※複数選択可



「地域の広報紙」が 24.2% (46 団体) で最も多く、次いで「行政広報紙」が 22.1% (42 団体)、「説明会やシンポジウム」が 17.4% (33 団体) となった。

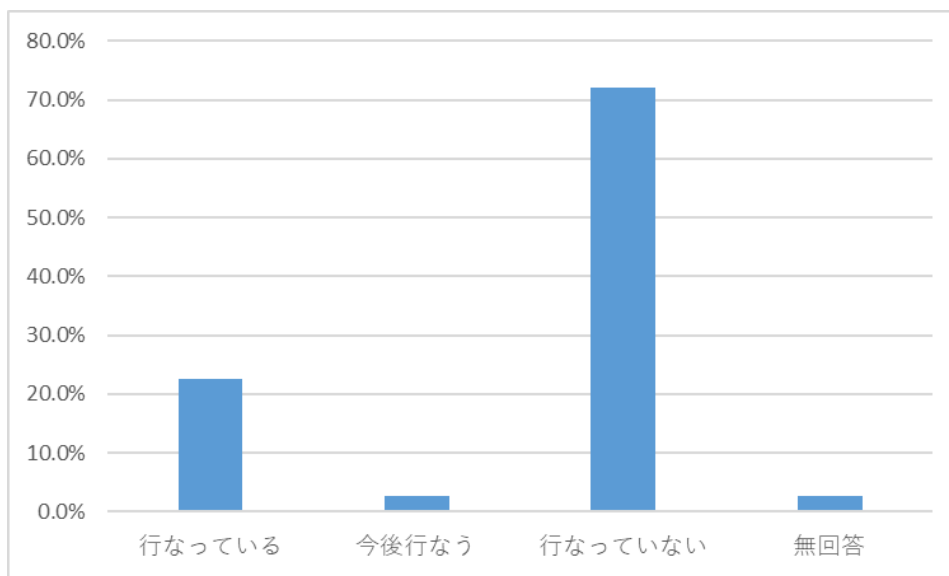
⑤ - 1 生活困窮者自立支援制度や関連する事業内容について知っているか (n=180)

※複数選択可



「就労支援」が 23.9% (43 団体) で最も多く、次いで「生活福祉資金貸付」が 15.6% (28 団体) となった。「わからない」も 11.1% (20 団体) 回答があった。

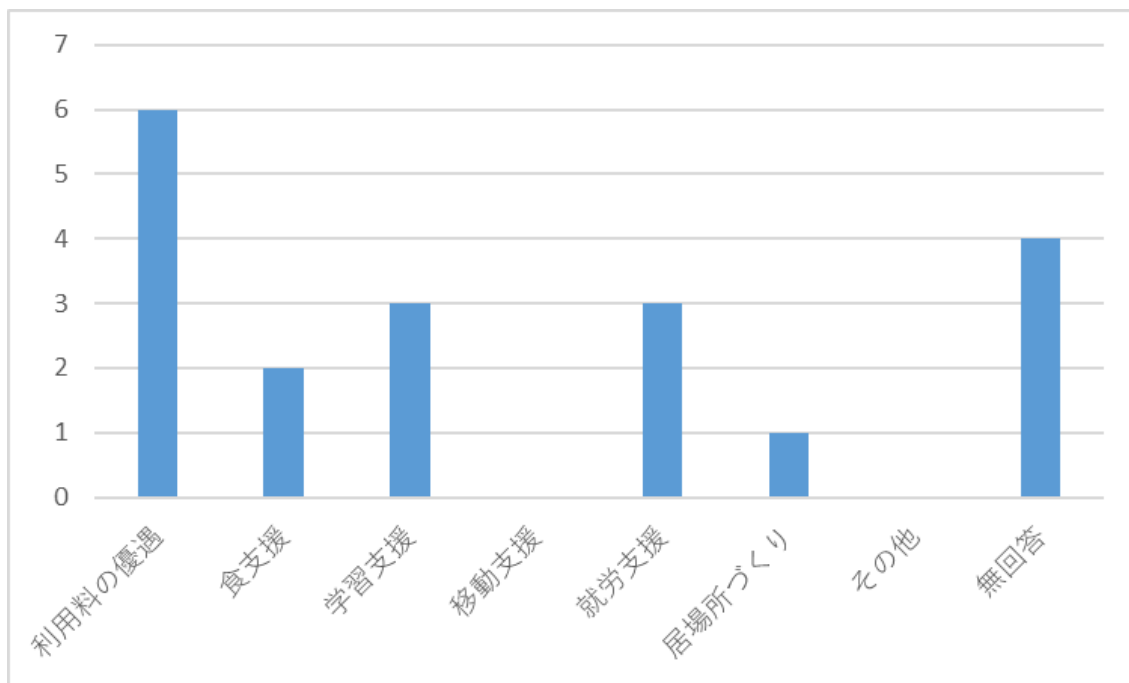
⑤-2 生活困窮者に対する取り組みを行っているか (n=75)



「行なっている」が22.7%で、「行なっていない」が72.0%となった。

⑤-3 生活困窮者に対してどのような取り組みを行っているか (n=19)

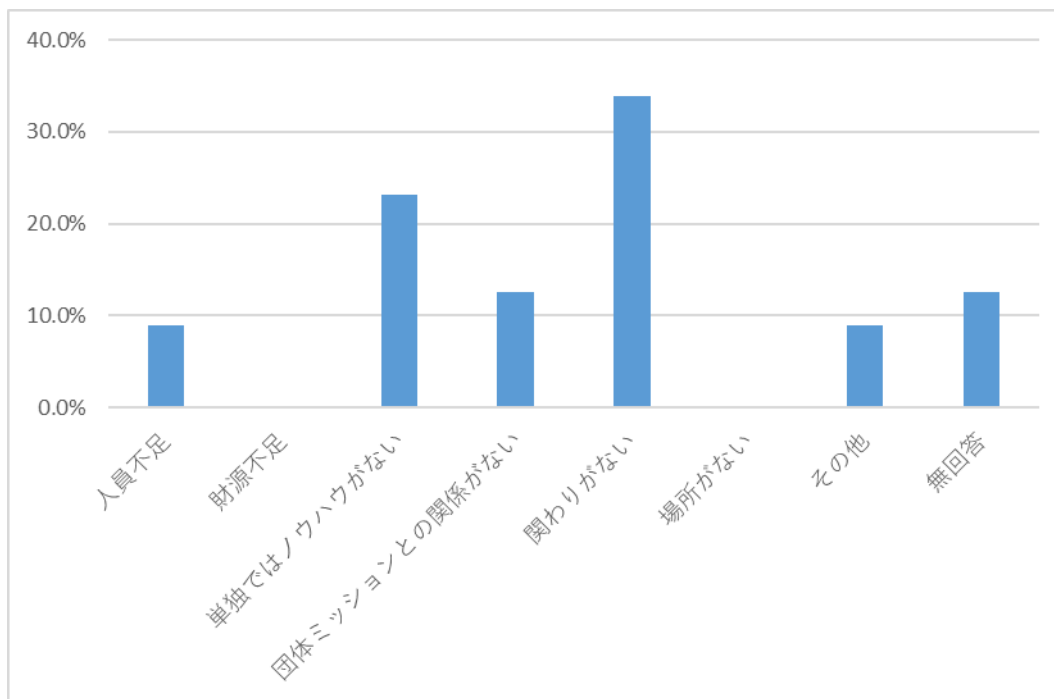
※⑤-2で「行なっている」「今後行なう」を選択した者が対象



「利用料の優遇が」が9団体で最も多く、次いで「学習支援」「就労支援」と続いた。

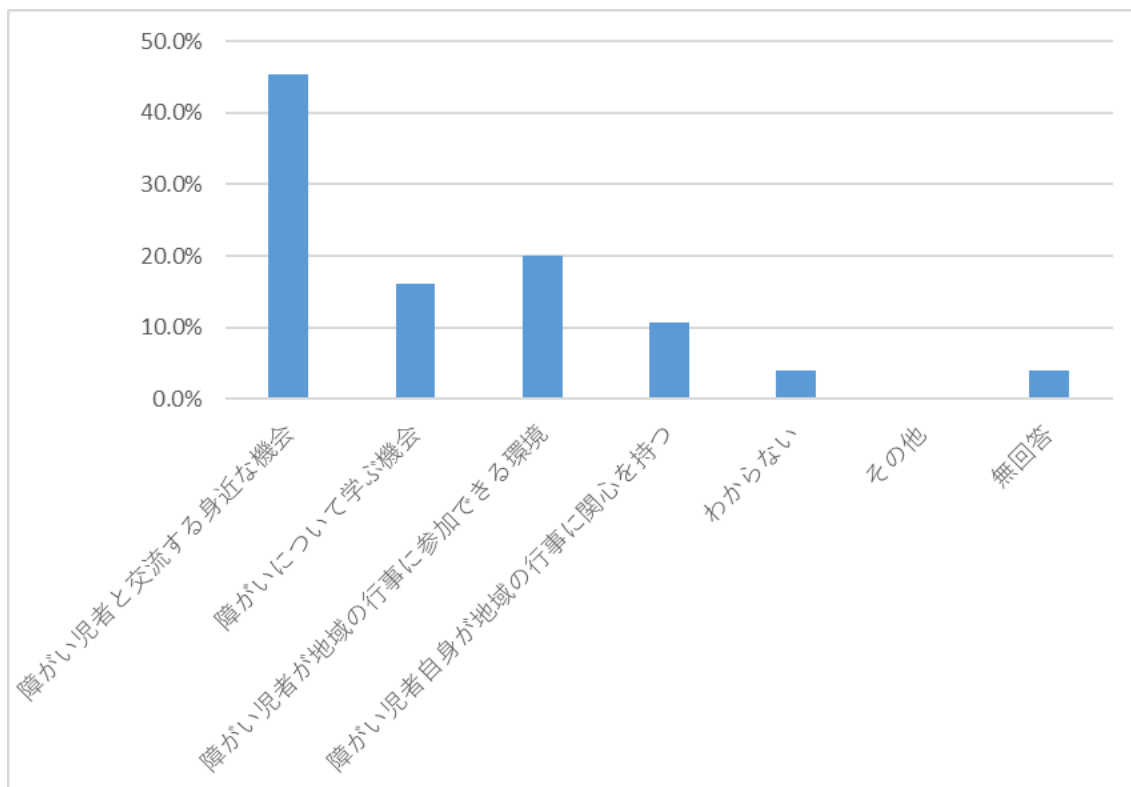
⑤-4 生活困窮者に対する取り組みを行っていない理由 (n=56)

※⑤-2で「行っていない」を選択した者が対象



「関わりがない」が 33.9%で最も多く、次いで「単独ではノウハウがない」が 23.2%、「団体ミッションとの関係がない」が 12.5%となった。

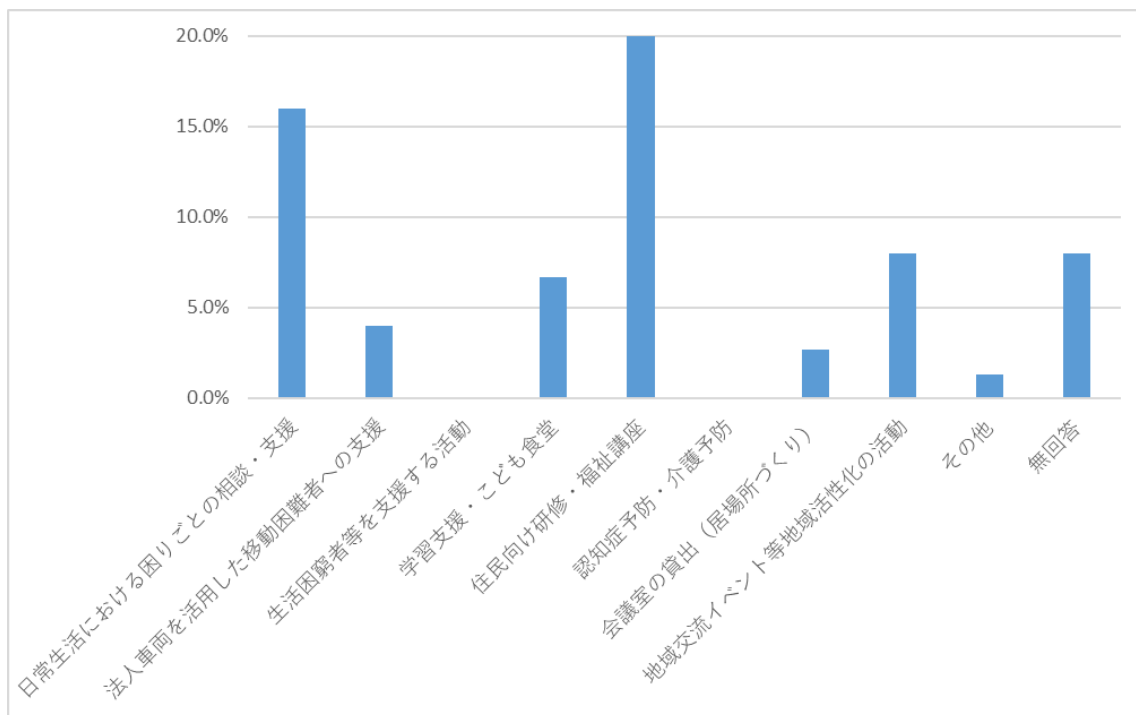
⑥-1 障がいの有無に関わらず住民が主体的に参加できるまちをつくるために、最も必要なことは何か (n=75)



「障がい児者と交流する身近な機会」が 45.3%で最も多く、次いで「障がい児者が地域の行事に参加できる環境」が 20.0%となった。

⑦-1 社会福祉法人とどのようなことで連携したいか (n=50)

※第1種会員は回答対象外



「住民向け研修・福祉講座」が 20.0%で最も多く、次いで「日常生活における困りごとの相談・支援」が 16.0%となった。

～自由意見～（原文ママ）

- 「鶴見・あいねっと」を今回初めて聞いたので、もっと広く知ってもらう活動が必要？
- 「鶴見あいねっと」は福祉活動している人以外はあまり知られていないような又、興味を持っていないような気がしています。何かもっと区民が社会福祉協議会を知る機会があると良いと思います。
- 外国人技能実習生（特にベトナム人）が孤立しないような支援や、特別支援教育支援員の受け入れを地域の人たちを巻き込み事業計画を立てていけたらいいと思っています。
- 共生に対する障害者、高齢者、外国人自身の意識の向上、当たり前サービスを受けるという感覚ではなく共に寄り添う気持ちを大事にしたいと思います。
- 近年、災害が多くなっています。まずは近所の人とのかかわり合いが大切と感じます。
- 区民への周知が希薄と思います。我々関係者でも県・市の健康福祉計画の知識にとどまっております。
- 空き家、空き室、空き部屋の安全と早い段階での再利用。例えば火災、死体いつの間にかホームレスが住み込んでいたり、災害で家が崩れたり屋根がとんだりする。シロアリの発生等。地区で所有者の確認をし、家賃の援助をして地域の課題の場所として使わせて頂きたい。
- 訓練会を知る窓口が少ない
- 自治会、町内会の奉活動から、当施設のような福祉施設やボランティア団体、地域サークルなどそれぞれがお互いの活動内容を知る機会と併せて、地域住民も容易に気軽に知ることのできる機会が広がると良いと思います。
- 自治会・町内会の方や民生委員、保活、キャラバンメイト等が活動しやすいような支援策が計画に盛り込まれると、より積極的な活動につながると思うのでそれをきっかけに他団体の人が結びついて鶴見がよりよくなると考えます。
- 情報が伝わっていないようです。掲示板は見ない人が多いと伝える人があっさりしている。きめ細かくしていない。参加しなくても生活に必要なのか？
- 赤ちゃんから高齢者まで細かい様々な問題も大切ですが、今考えて行きたいのは(地震と凡水害の違い)について普段からの備えや心構え、また発生後のことなど豊岡連合全体で鶴見区で皆さまの考えや意見が聞きたいです。
- 鶴見区、鶴見区社会福祉協議会、ボランティア団体の3者の意見交換の場も必要ではないだろうか、3者が共通認識に立つことで生まれるアイデアがあると思います。
- 鶴見区内はやたらと異国人が目立つが、この人たちの生活環境は大丈夫か、研修や講座を町会回覧板で知らせる前に場所は極力地元の集会所や神社仏閣使用で地元民に集ってもらう
- 要援護者を中心に、地域で支援を必要とする人が増えている。支援する人の高齢化もあり一部の支援者への負担が大きくなっている。今後安否確認や見守り事業が本当に推進出来るのか不安と思うことが多い。また、ボランティアに依存するのも限度があり、より効果的な面を考慮するなら金銭的な支援も必要と思う。

鶴見区地域福祉保健計画

第4期『鶴見・あいねっと』策定のための関係団体アンケート

鶴見区では、「たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク」を基本理念に、誰もが安心して生活できるまちづくりのための活動「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」を区民の皆様とともに進めています。

今回のアンケートは、団体の皆様から地域や福祉、保健などの身近なことについてお伺いし、令和3年度から始まる第4期鶴見区地域福祉保健計画策定の参考とさせていただきます。

お忙しいところ大変恐縮ですが、「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」に団体の皆様の声を反映させるため、本アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、並行して鶴見区民2,000名を対象としたアンケートを実施しております。

令和元年10月

◆◆◆ ご記入にあたってのお願い ◆◆◆

本アンケートは、鶴見区社会福祉協議会の会員様を対象に、お送りしています。

★ご回答いただいた内容については、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

- この調査票の回答は、封筒の宛名に書かれた団体としてご回答ください。
- ご記入に当たっては、次の要領をお願いします。
 - (1) 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
 - (2) 質問によっては、「○はひとつだけ」、「○は3つまで」、「○はいくつでも」といった指定がありますので、ご注意ください。
 - (3) 回答が、「その他」にあてはまる場合には、() に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて、

令和元年11月15日（金）までに

ポストにご投函ください。（切手は不要です。）



《問い合わせ先》 社会福祉法人横浜市鶴見区社会福祉協議会
住所：〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央4-37-37 リオベルデ鶴声2階
電話：045-504-5619 FAX：045-504-5616

第4期「鶴見・あいねっと」策定のための関係者アンケート

団体名をご記入ください。

--

「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」について伺います。

①-1 「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」を知っていますか？（〇はひとつだけ）

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 内容も含めてよく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはある | 4. 知らない |

①-2 「鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）」は3つの柱から成り立っています。この中で貴団体として、取り組みが特に充実してきていると思うものはどれですか？（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. つながりのある地域づくり | 2. 必要な人に支援が届く仕組みづくり |
| 3. 健やかに暮らせる地域づくり | 4. 特になし |

①-3 3つの柱の中で貴団体として、もっと積極的に取り組む必要があると思うものはどれですか？（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. つながりのある地域づくり | 2. 必要な人に確実に支援が届く仕組みづくり |
| 3. 健やかに暮らせる地域づくり | 4. 特になし |

貴団体の活動の現状について伺います。

②-1 貴団体は活動のPRや会員の募集などをどのように行っていますか？（〇はいくつでも）

- | | | | | |
|---------------|--------------------|-----------|--------------------------------|-----------|
| 1. 会報 | 2. 会員からの紹介 | 3. SNS | 4. メルマガ | 5. ホームページ |
| 6. ボランティアセンター | 7. 公共施設等への張り紙・ポスター | 8. 行っていない | 9. その他（ ） | |

②-2 貴団体に必要な情報は、どこから得ていますか？（〇はいくつでも）

- | | | | |
|--------------------------------|---------|------------|-----------|
| 1. 活動メンバー | 2. 関連団体 | 3. 自治会・町内会 | 4. 行政 |
| 5. 鶴見区社会福祉協議会 | 6. SNS | 7. メルマガ | 8. ホームページ |
| 9. その他（ ） | | | |

②-3 貴団体では、他の団体や関係機関などとの関係がありますか？（関わりが深い団体3つまで）

- | | | | |
|------------------|--------------|---------------------------------|------------------|
| 1. 自治会・町内会 | 2. 地区社会福祉協議会 | 3. 民生委員・児童委員協議会 | |
| 4. 保健活動推進委員会 | 5. 高齢者関係団体 | 6. 障がい関係団体 | |
| 7. 子育て関係団体 | 8. 学校 | 9. 商店街・企業 | 10. NPO法人・ボランティア |
| 11. 特に関係がある団体はない | | 12. その他（ ） | |

②-4 ②-3にて選択して頂いた団体との関わり方について、下記にご記入ください。

	団体名	関わり方
例	〇〇〇協議会	協力して事業などを実施、定期的に情報交換を行っている
1		
2		
3		

②-5 貴団体が活動をする中で、困っていることはありますか？（〇は3つまで）

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 活動がマンネリ化している | 2. メンバーが固定化している |
| 3. 会議や活動の場の確保に苦労している | 4. 他の団体と交流する機会がない |
| 5. 活動資金が不足している | 6. 参加者が集まりにくい |
| 7. 情報発信する機会が少ない | 8. 特に困っていることはない |
| 9. その他（ | ） |

②-6 貴団体が活動を続けていくために、どのような支援があると良いですか？（〇は3つまで）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 相談できる機会 | 2. 人材確保 |
| 3. 会議や活動の場の確保 | 4. 他の団体と交流する場 |
| 5. 活動資金 | 6. 活動をPRする場 |
| 7. 特に困っていることはない | 8. その他（ |
| | ） |

地域での必要な支援について伺います。

③-1 貴団体の活動を通じて地域がもっと住みやすくなるために、どのようなことが今後充実するとよいと思いますか？（〇は3つまで）

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| 1. 高齢者世帯の安否確認・見守り | 2. 高齢者への介護予防や介護者への支援 |
| 3. 認知症に対する理解・支援 | 4. 障がい者に対する理解・支援 |
| 5. 外出や買い物の手助け | 6. 閉じこもりがちな方への支援 |
| 7. 子育て中の親への支援 | 8. こどもの居場所 |
| 9. 様々な世代の方が気軽に過ごせる場所 | |
| 10. 生活習慣病等を予防するための健康づくりへの取り組み | |
| 11. ボランティアなどの地域活動やその担い手の充実 | 12. 隣近所でのあいさつ・声かけ |
| 13. 低所得世帯への就労支援・学習支援 | 14. 外国人居住者に暮らしやすいまちづくり |
| 15. 特に必要だと思わない | 16. その他（ |
| | ） |

③-2 貴団体が活動していく中で、区役所や区社協に具体的にどのような支援を期待しますか？（〇は3つまで）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 情報提供の充実 | 2. 情報交換できる場づくり |
| 3. 気軽に相談できる体制の充実 | 4. 区民への啓発活動 |
| 5. 活動するための場づくり | 6. 研修会の開催 |
| 7. 特になし | 8. その他（ |
| | ） |

誰もが安心して暮らせる地域づくりについて伺います。

誰もが安心して暮らせる地域づくりに必要なこととして『成年後見制度・生活困窮・共生社会・社会福祉法人の地域貢献』について伺います。

《 成年後見制度について 》

④-1 成年後見制度(※₁)をより多くの方に知っていただくために、次のどの方法で周知すると効果的だと思いますか？(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------|-------------|--------------|
| 1. 市の広報紙 | 2. 市のホームページ | 3. 動画などによる配信 |
| 4. 市民が利用する施設へのチラシ配架 | 5. 地域の広報紙 | |
| 6. 説明会やシンポジウムなどの実施 | 7. わからない | |
| 8. その他() | | |

※₁: 既に判断能力が不十分な方を、申立により家庭裁判所によって選任された後見人等が本人に代わって財産や権利を護り、本人を支援する制度です。

《 生活困窮について 》

⑤-1 生活困窮者自立支援制度(※₂)と関連する事業内容についてご存知ですか？(○はいくつでも)

- | | | | | |
|---------------|----------|-----------|------------|-----------|
| 1. 就労支援 | 2. 家計改善 | 3. 学習支援 | 4. 就労準備・訓練 | 5. フードバンク |
| 6. 生活福祉資金貸付制度 | 7. わからない | 8. その他() | | |

※₂: 平成27年4月から「生活困窮者自立支援法」が施行され、さまざまな事情で経済的に困りの方に対して支援が行われています。

⑤-2 生活困窮者に対して何等かの支援を行っていますか？(○はひとつだけ)

- | | | |
|----------|--------------|-----------|
| 1. 行っている | 2. 今はないが今後行う | 3. 行っていない |
|----------|--------------|-----------|

⑤-3 ⑤-2で「行っている」「今後行う」を選んだ方に伺います。

どのような支援を行っていますか。もしくは行う予定ですか？(○はひとつだけ)

- | | | | |
|---------------|-----------|-----------|---------|
| 1. サービス利用料の優遇 | 2. 食支援 | 3. 学習支援 | 4. 移動支援 |
| 5. 就労支援 | 6. 居場所づくり | 7. その他() | |

⑤-4 ⑤-2で「行っていない」を選んだ方に伺います。その理由はなぜですか？(○はひとつだけ)

- | | | |
|--------------------|-----------|----------------|
| 1. 人員不足 | 2. 財源不足 | 3. 単独ではノウハウがない |
| 4. 団体ミッションとの関係性がない | 5. 関わりがない | 6. 場所がない |
| 7. その他() | | |

《 障がい者との共生社会について 》

⑥-1 障がいの有無に関わらず、住民が主体的に参加できるまちをつくるために、最も必要なことは何だと思いますか？(○はひとつだけ)

- | |
|------------------------------|
| 1. 障がい児者と交流する機会が身近にある |
| 2. 講座や研修を通して障がいについて学ぶ機会がある |
| 3. 障がい児者が地域の行事へ参加できる環境が整っている |
| 4. 障がい児者自身が地域の行事に関心をもつ |
| 5. わからない |
| 6. その他() |

